

令和4年度 季節性疾患及び新型コロナ関連の<入院外>における
受診者数及び医療費等に関する調査

令和6年7月
健康保険組合連合会
政策部 調査分析グループ

【調査の概要】

本調査は、令和4年度の1,310組合（加入者数：2,709万6,042人）の「医科入院外」及び「調剤」電算処理レセプトデータをもとに、①急性鼻咽頭炎〔かぜ〕、②インフルエンザ、③血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎、④花粉によるアレルギー性鼻炎、⑤ノロウイルス、⑥新型コロナ関連-の6疾患（以下、参照）を対象に<入院外>の受診動向や医療費等についてとりまとめたものです。

調査対象6疾患の疾病分類及び分類コード

分類名	基本分類コード
呼吸器系疾患	J00～J99
①急性鼻咽頭炎〔かぜ〕	J00
②インフルエンザ	J101、J110、J111、J118
③血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎	J300、J302-304
④花粉によるアレルギー性鼻炎	J301
感染症・寄生虫症	A00-B99
⑤ノロウイルス	A081
特殊目的用コード	U00～U99
⑥新型コロナ関連（その他の特殊目的用コード）	U04（SARS）以外の残り

調査対象組合の加入者数

対象組合数	区分	加入者数
1,310 組合	2,709万6,042人	
	合計	
	被保険者	1,596万1,791人
	被扶養者	1,113万4,322人

※ 被保険者数は、「合計」及び「男性」・「女性」の各加入者数を月平均により算出しているため、「男性」・「女性」の計が加入者「合計」とは一致しない。

1. 本調査で取り扱う疾病分類別医療費及びレセプト件数の集計方法について

(1) 疾病分類別の受診者数及び医療費

- 本調査の<入院外>における受診者数は、実態に近い疾病の発生状況を観察するため、1枚のレセプトに記載された1ないし複数の疾病名ごとに受診者数（レセプト件数）を計数している。
- たとえば、レセプト上に3つの傷病名—A病名、B病名、C病名—が記載されている場合、受診者数（レセプト件数）は、A病名：1人（件）、B病名：1人（件）、C病名：1人（件）として計数し、疾病・疾病分類ごとに集計している。
- また、医療費も上記と同様の考え方にに基づき、各疾病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、疾病名ごとに医療費を振り分けた結果に基づき算出した推計医療費（薬剤費を含む）である。
- 公的医療統計においてはレセプトに記載された1ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づき1レセプト1傷病名による医療費で集計しているが、これとは異なる点に留意されたい。

2. 新型コロナウイルス（COVID-19）の疾病19分類区分と分類名について

- 「新型コロナウイルス（COVID-19）」は、疾病19分類（社会保険表章用疾病分類表）上、「XXII：特殊目的用コード（U00-99）」のうち、「その他の特殊目的用コード〈U04（SARS）以外の残り〉」に該当することから、本調査では便宜上、名称を「新型コロナ関連」と置き換えている。
- なお、「XXII：特殊目的用コード」・「その他の特殊目的用コード〈U04（SARS）以外の残り〉」には、「原因不明の新たな疾患の暫定分類」や「ジカウイルス病」等が含まれるが、令和元年度まで同分類には医療費がほぼ計上されておらず、新型コロナウイルス感染拡大が発生した2年度以降に医療費が計上されたことを踏まえ、同分類に計上された医療費を新型コロナウイルスに係る医療費として取り扱っている。

3. 本調査における用語の定義

① 推計受診者数（年度平均）

当該年度の各月の受診者数の和を12で除したもの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、毎月1人の患者について1枚のレセプトが提出されており、受診者数についてはレセプト毎に人数を数えるため、当該月に報告のあった受診者数に

他の月と同一の受診者が計上される場合がある（複数枚のレセプトとなる）ことから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を12で除した推計値を用いている。

② 加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）

当該年度の平均受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したもの。

③ 加入者1人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除したもの。

④ 受診率（1,000人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したもの。

⑤ レセプト1件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したもの。

⑥ 1日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したもの。

⑦ 加入者1人当たり医療費の3要素分解

加入者1人当たり医療費は、以下の通り、①「受診率」、②「1件当たり日数」、③「1日当たり医療費」一の積に分解することができる。

$$\begin{aligned} \text{【加入者1人当たり医療費】} &= \text{【医療費】} \div \text{【加入者数】} \\ &= \text{①「受診率」} \left(\text{【レセプト件数】} \div \text{【加入者数】} \right) \times 1,000 \\ &\times \text{②「1件当たり日数」} \left(\text{【日数】} \div \text{【レセプト件数】} \right) \\ &\times \text{③「1日当たり医療費」} \left(\text{【医療費】} \div \text{【日数】} \right) \end{aligned}$$

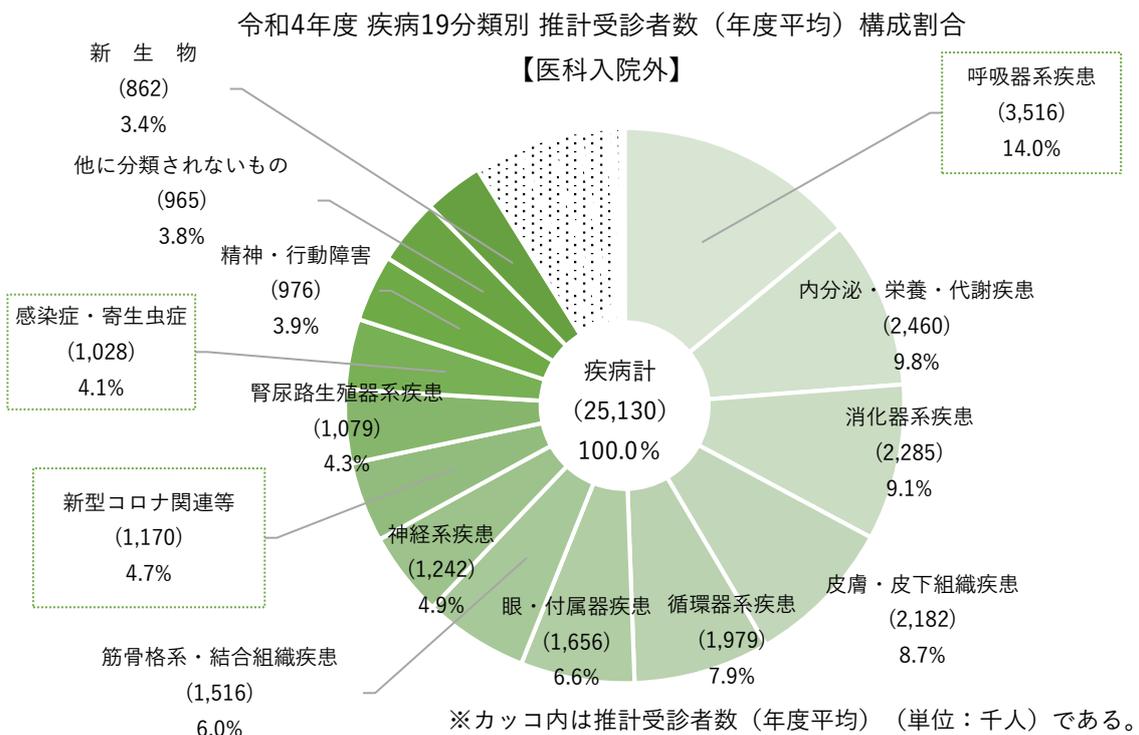
1. 季節性5疾患及び新型コロナ関連の受診者数及び医療費

(1) 疾病分類別にみた推計受診者数及び加入者1,000人当たり受診者数(年度平均)

- 季節性5疾患及び新型コロナ関連について、加入者1,000人当たりの受診者数をみると、血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎が66.9人と最も多く、次いで、新型コロナ関連：43.2人、急性鼻咽頭炎〔かぜ〕：8.0人となっている。

疾病分類別(医科入院外)推計受診者数(年度平均)及び加入者1,000人当たり受診者数

1,310 組合(加入者数：2,709万6,042人)	推計受診者数 (年度平均)	加入者1,000人 当たり受診者数
疾病分類 医科入院外 計	2,512万9,719人	927.4人
呼吸器系疾患 計	351万6,232人	129.8人
急性鼻咽頭炎〔かぜ〕	21万7,184人	8.0人
インフルエンザ	18万0,071人	6.6人
血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎	181万2,667人	66.9人
花粉によるアレルギー性鼻炎	11万6,522人	4.3人
感染症・寄生虫症 計	102万8,095人	37.9人
ノロウイルス	2,025人	0.07人
特殊目的用コード 計	117万0,489人	43.2人
新型コロナ関連(その他の特殊目的コード)	117万0,483人	43.2人



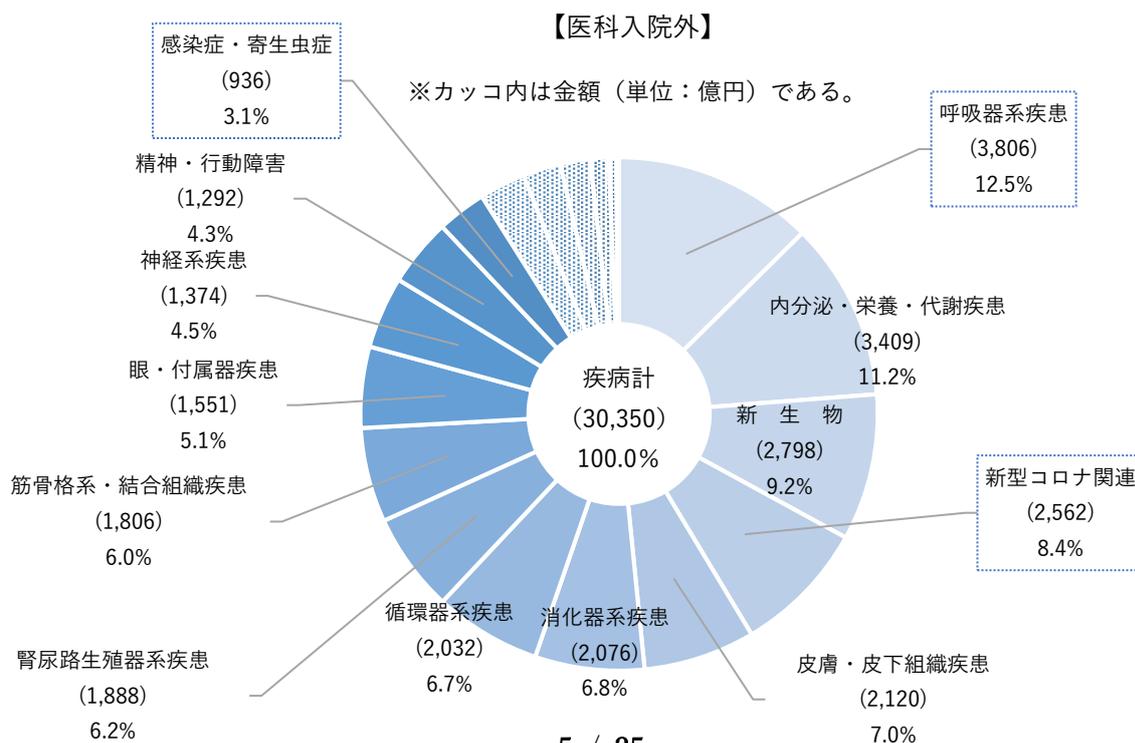
(2) 疾病分類別にみた医科入院外医療費（薬剤費を含む）構成割合

- 疾病分類別医療費計（薬剤費を含む）に占める各疾病の構成割合をみると、▽新型コロナ関連が 8.4%と最も高く、次いで、▽血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎：3.6%、▽インフルエンザ：0.4%、▽花粉によるアレルギー性鼻炎：0.3% - となっている。

疾病分類別<医科入院外>医療費（薬剤費を含む）及び医療費構成割合

1,310 組合（加入者数：2,709 万 6,042 人）	医療費総額	構成割合
疾病分類別医療費計（薬剤費を含む）	3 兆 0,350 億円	(100.0%)
呼吸器系疾患計	3,806 億円	12.5%
急性鼻咽頭炎 [かぜ]	69 億円	0.2%
インフルエンザ	119 億円	0.4%
血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎	1,105 億円	3.6%
花粉によるアレルギー性鼻炎	97 億円	0.3%
感染症・寄生虫症計	936 億円	3.1%
ノロウイルス	1 億円	0.0%
特殊目的用コード計	2,562 億円	8.4%
新型コロナ関連（その他の特殊目的コード）	2,562 億円	8.4%

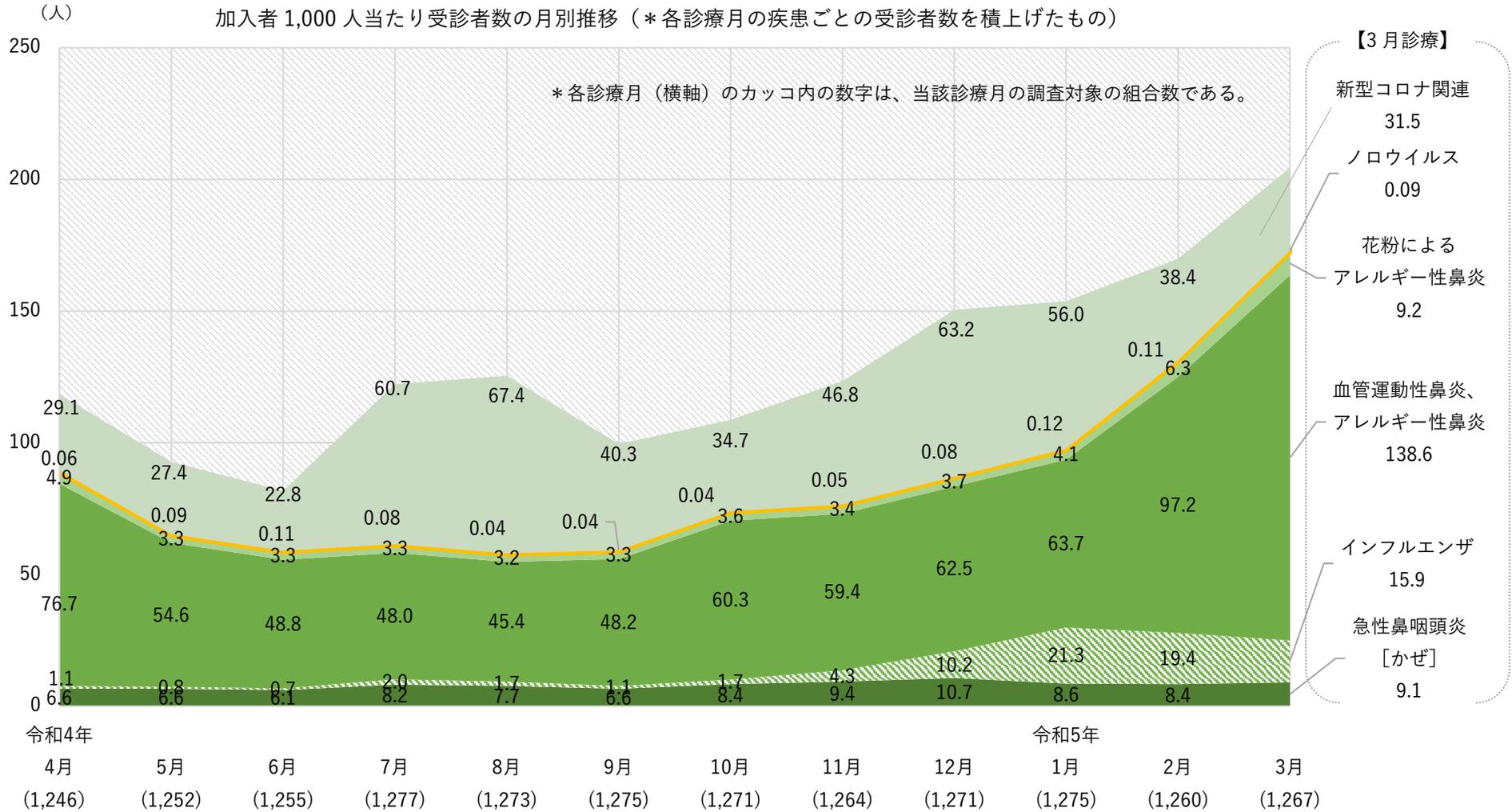
令和 4 年度 疾病19分類別 医療費（薬剤費を含む）構成割合



【参考】

令和4年度 季節性5疾患及び新型コロナ（COVID-19）関連の受診動向

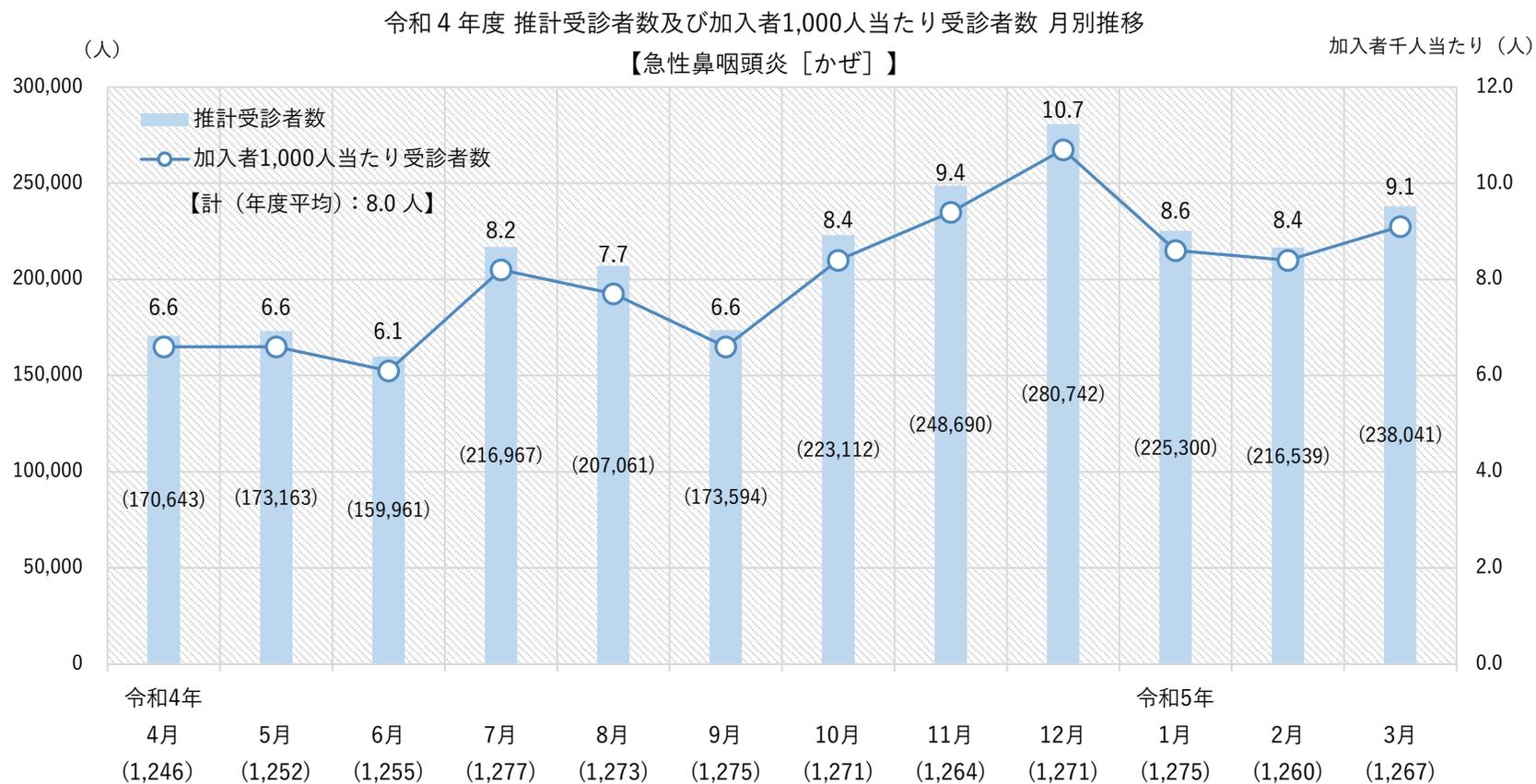
加入者 1,000 人当たり受診者数の月別推移（* 各診療月の疾患ごとの受診者数を積上げたもの）



2. 急性鼻咽頭炎 [かぜ]

(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数の月別推移

- 月別推移をみると、▽上半期では7月、8月で多くなり、▽下半期では10月以降、12月をピークに多くなり、3月に再度多くなる傾向がみられる。なお、最も多いのは12月の10.7人で、次いで、11月：9.4人、3月：9.1人となっている。

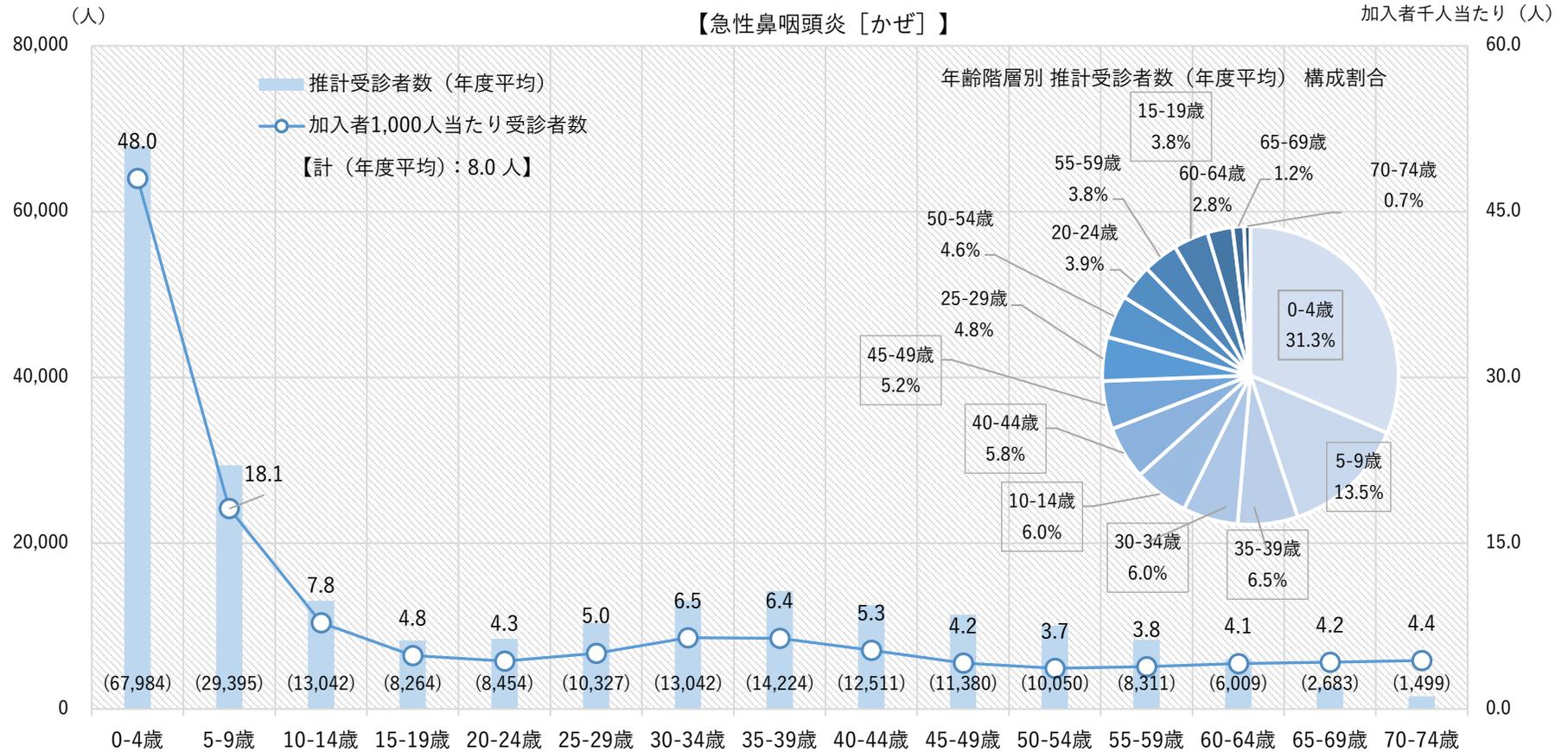


*) 各診療月 (横軸) のカッコ内の数字は、当該診療月の調査対象の組合数である (なお、診療月ごとに対象組合数が異なるため、推計受診者数は参考数値として掲載している (以下、同じ)。

(2) 年齢階層別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数

- 年齢階層別にみると、0-4 歳：48.0 人が最も多く、次いで、5-9 歳：18.1 人、10-14 歳：7.8 人となっている。
- また、年齢階層別に推計受診者数の構成割合をみると、0-9 歳代：44.8%、30 歳代：12.5%、40 歳代：11.0%、10 歳代：9.8%となっている。

令和 4 年度 年齢階層別 推計受診者数（年度平均）及び加入者 1,000 人当たり受診者数



(3) 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

- 加入者1人当たり医療費は254円となっており、医療費3要素分解でみると、▽加入者1,000人当たり受診率：97.4件、▽1件当たり日数：1.53日、▽1日当たり医療費：1,706円-となっている。

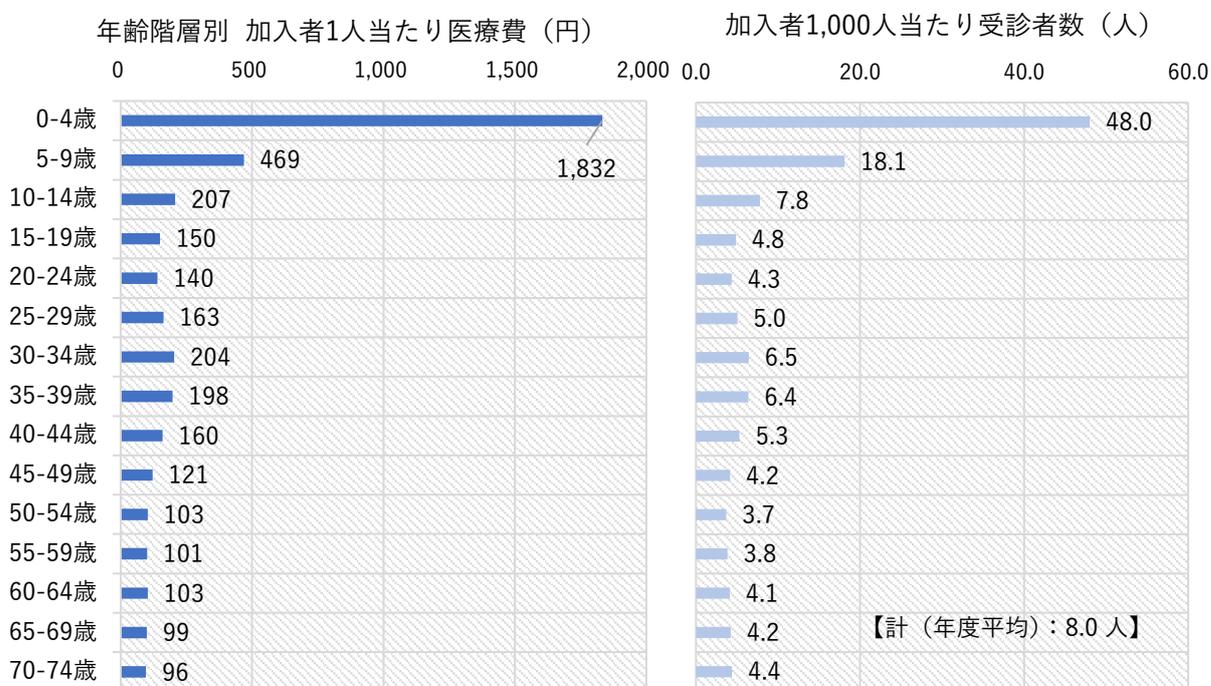
令和4年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

	医療費	1人当たり医療費	受診率(1,000人当たり件数)	1件当たり日数	1日当たり医療費
呼吸系疾患計	3,806億円	1万4,048円	1,713.8件	1.51日	5,419円
急性鼻咽頭炎 [かぜ]	69億円	254円	97.4件	1.53日	1,706円

(4) 年齢階層別にみた加入者1人当たり医療費

- 年齢階層別に加入者1人当たり医療費をみると、0-4歳：1,832円が最も高く、次いで、5-9歳：469円、10-14歳：207円-と、乳幼児及び未就学児で高く、加入者1,000人当たり受診者数が大きく影響している。

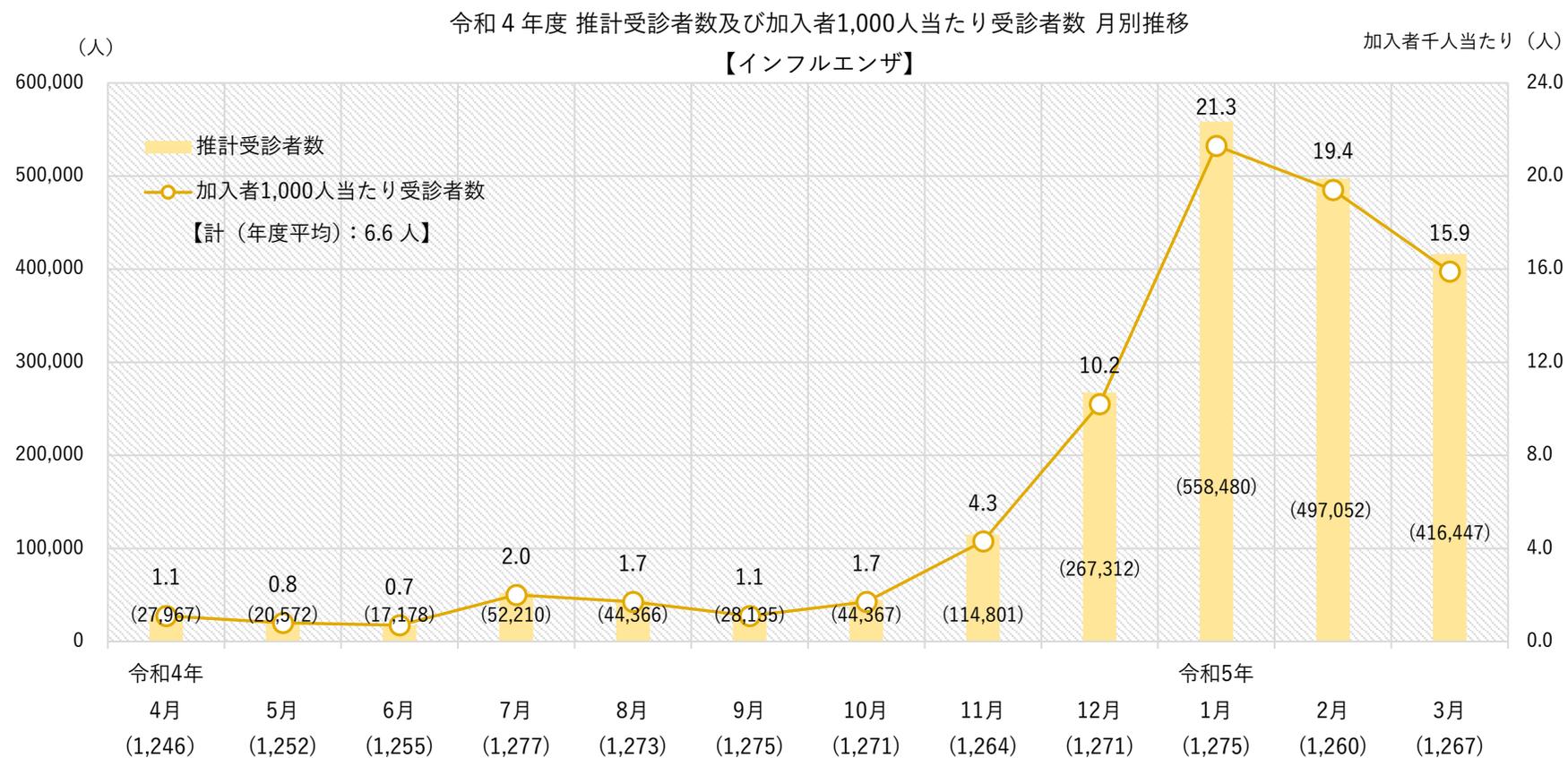
【急性鼻咽頭炎 [かぜ]】



3. インフルエンザ

(1) 加入者1,000人当たり受診者数の月別推移

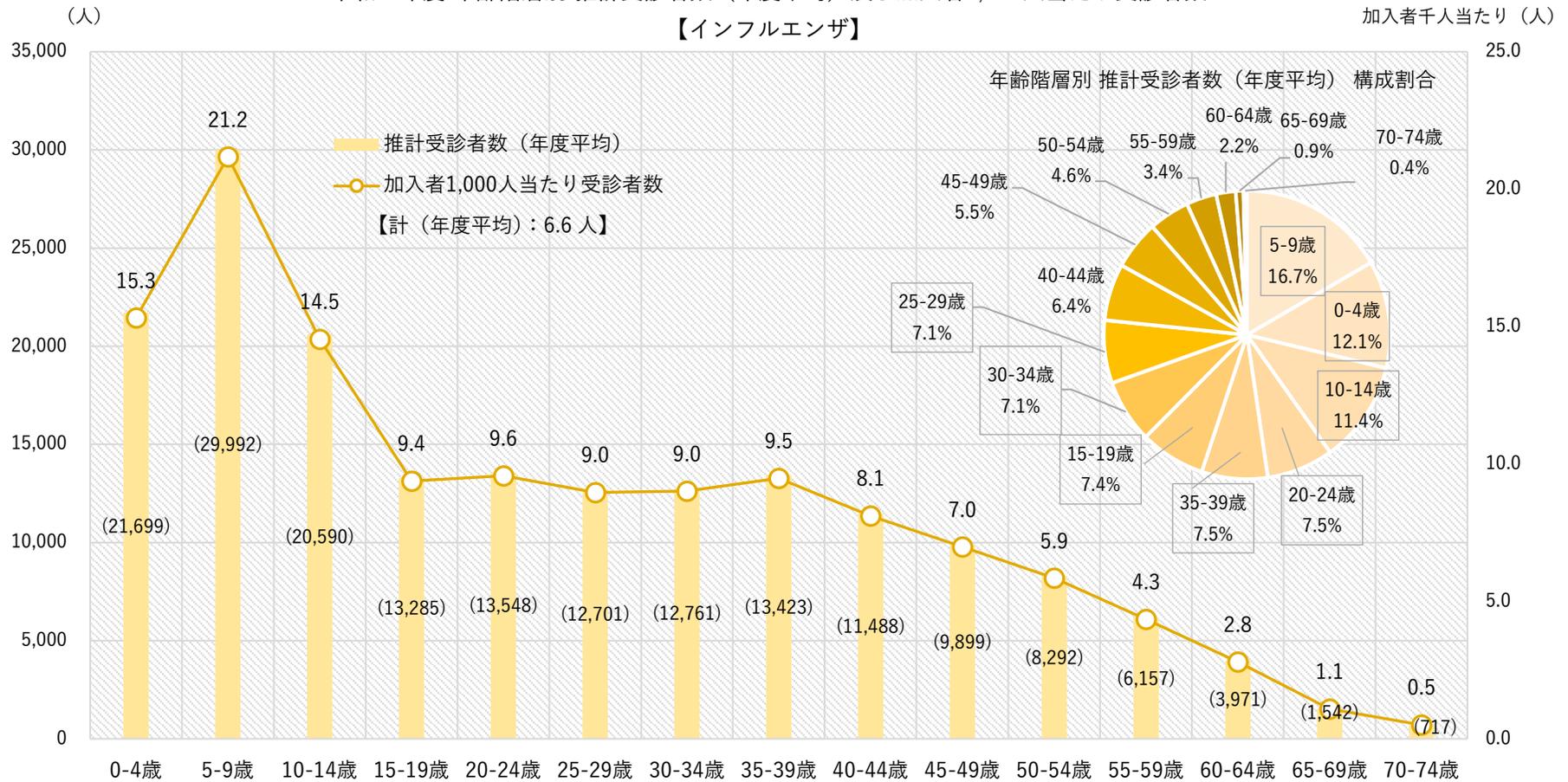
- 月別推移をみると、4月～10月は0.7人～2.0人で推移し、11月以降、大きく増加する傾向がみられる。最も多いのは、1月：21.3人で、次いで、2月：19.4人、3月：15.9人となっている。



(2) 年齢階層別にみた加入者1,000人当たり受診者数

- 年齢階層別にみると、5-9歳：21.2人が最も多く、次いで、0-4歳：15.3人、10-14歳：14.5人となっている。
- また、年齢階層別に推計受診者数の構成割合をみると、0-9歳代：28.8%、10歳代：18.8%、20歳代：14.6%、30歳代：14.6%となっている。

令和4年度 年齢階層別 推計受診者数（年度平均）及び加入者1,000人当たり受診者数
【インフルエンザ】



(3) 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

- 加入者1人当たり医療費は441円となっており、医療費3要素分解で見ると、▽加入者1,000人当たり受診率：80.9件、▽1件当たり日数：1.41日、▽1日当たり医療費：3,854円-となっている。

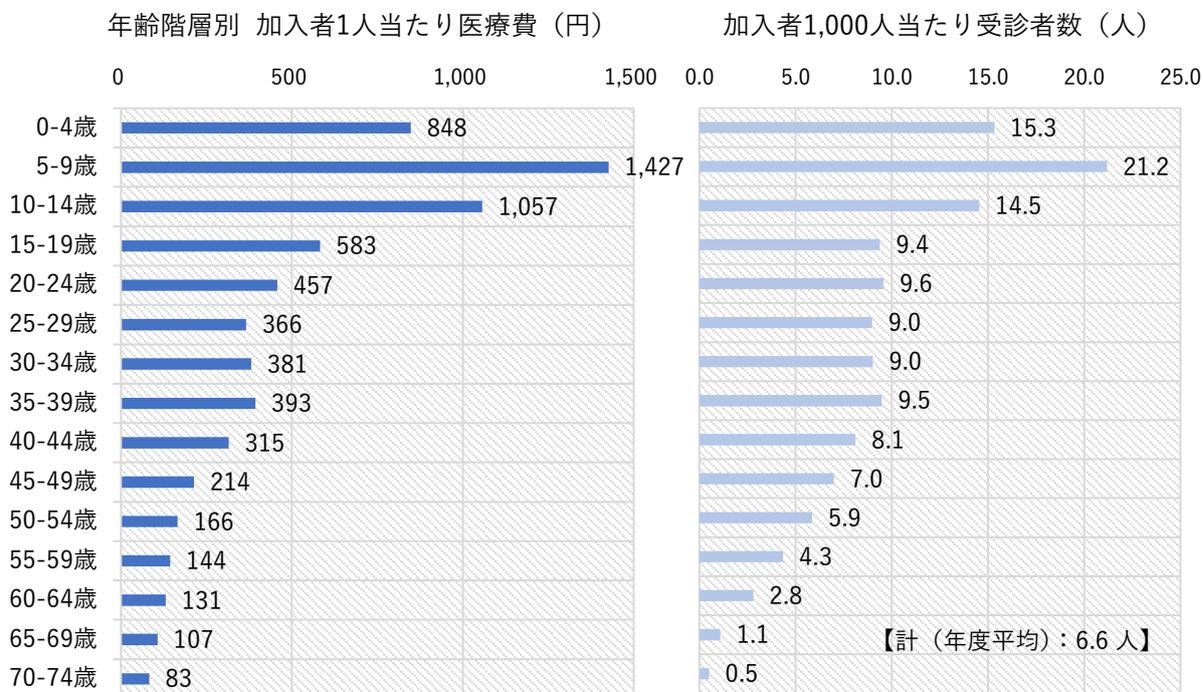
令和4年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

	医療費	1人当たり医療費	受診率(1,000人当たり件数)	1件当たり日数	1日当たり医療費
呼吸系疾患計	3,806億円	1万4,048円	1,713.8件	1.51日	5,419円
インフルエンザ	119億円	441円	80.9件	1.41日	3,854円

(4) 年齢階層別にみた加入者1人当たり医療費

- 年齢階層別に加入者1人当たり医療費をみると、5-9歳：1,427円が最も高く、次いで、10-14歳：1,057円、0-4歳：848円-と、未就学児で高く、加入者1,000人当たり受診者数が大きく影響している。

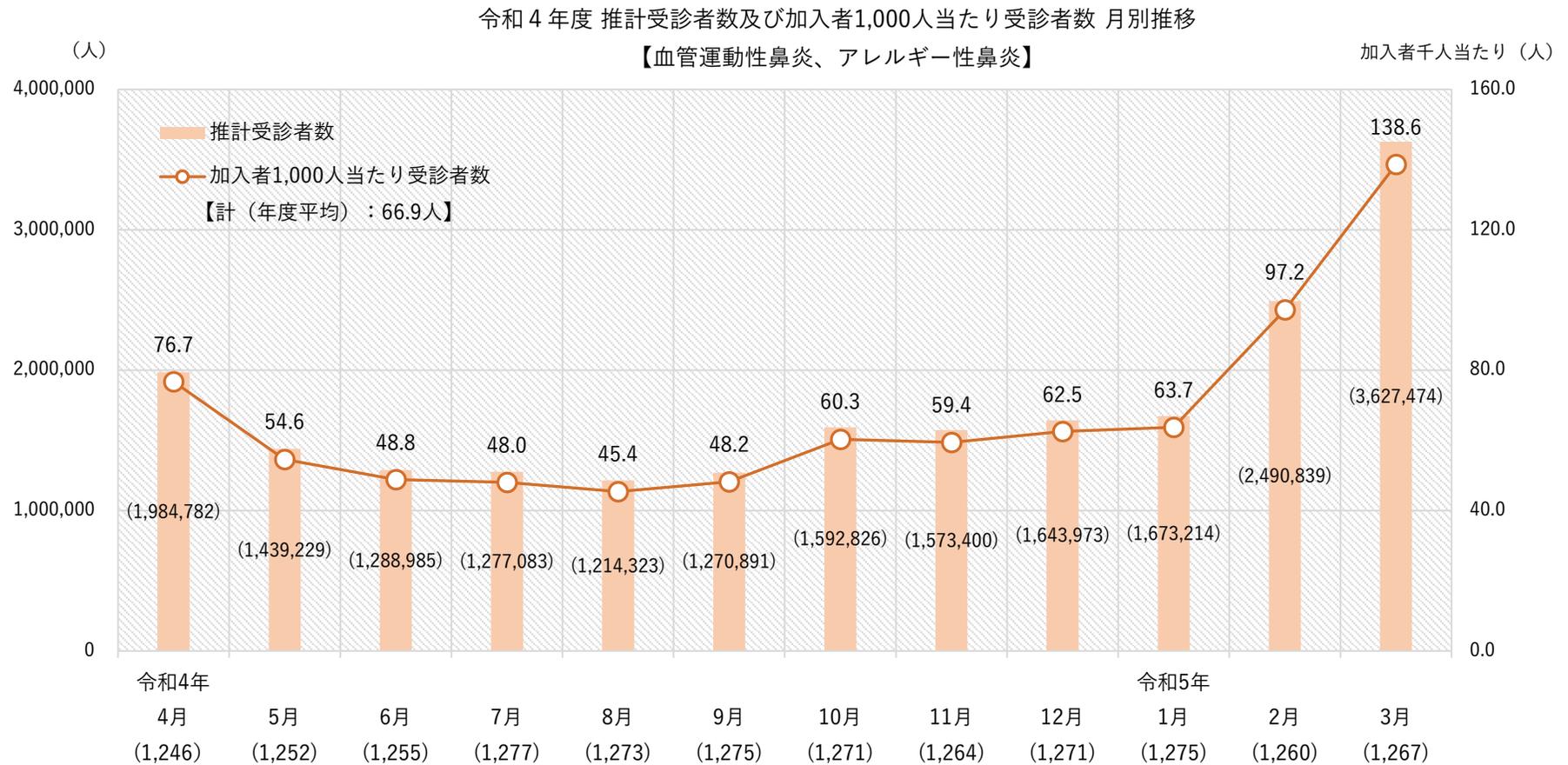
【インフルエンザ】



4. 血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎

(1) 加入者1,000人当たり受診者数 月別推移

- 月別推移をみると、3月：138.6人が最も多く、次いで、2月：97.2人、4月：76.7人—となっており、1月から増加する傾向がみられる。

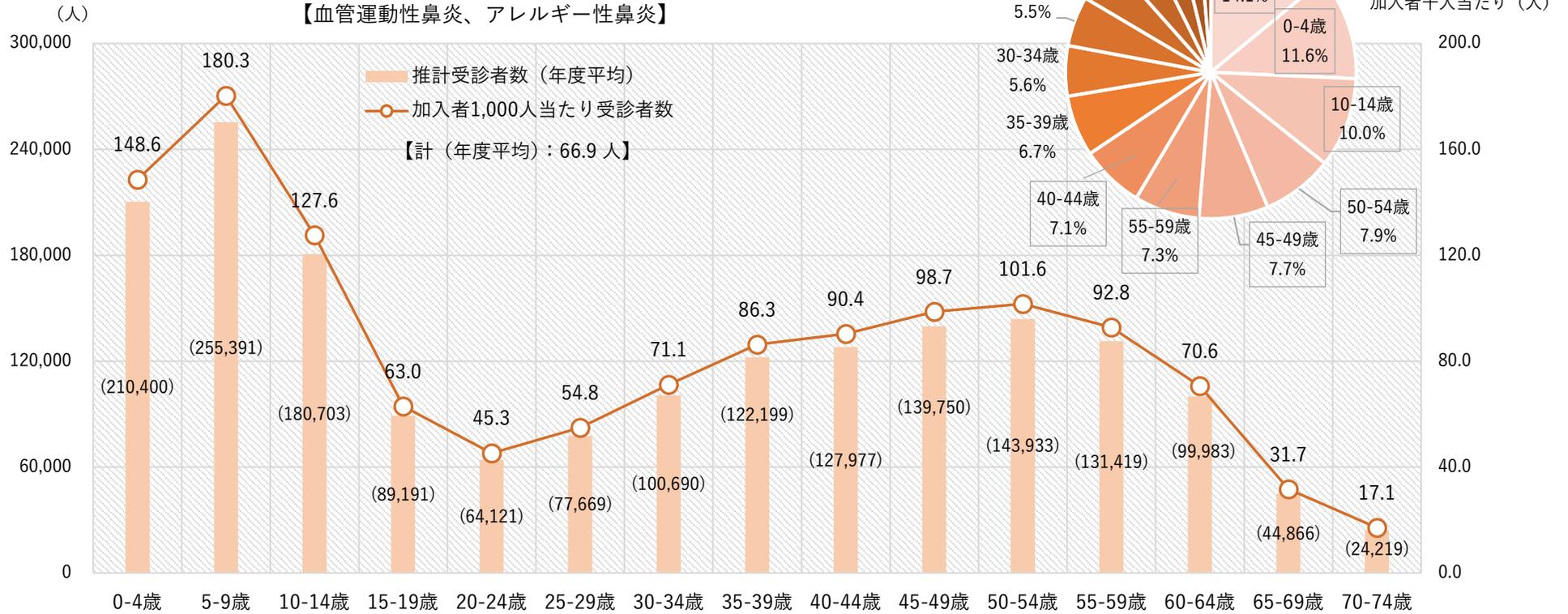


(2) 年齢階層別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数

- 年齢階層別にみると、5-9 歳：180.3 人が最も多く、次いで、0-4 歳：148.6 人、10-14 歳：127.6 人となっている。
- また、年齢階層別に推計受診者数の構成割合をみると、0-9 歳代：25.7%、10 歳代：14.9%と乳幼児・未就学児で高いほか、40 歳代：14.8%、50 歳代：15.2%と、40-50 歳代においても高い割合が示されている。

令和 4 年度 年齢階層別 推計受診者数（年度平均）及び加入者 1,000 人当たり受診者数

【血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎】



(3) 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

- 加入者1人当たり医療費は4,076円となっており、医療費3要素分解でみると、▽加入者1,000人当たり受診率：829.1件、▽1件当たり日数：1.36日、▽1日当たり医療費：3,625円となっている。
- なお、受診率は、本調査6疾患のなかで最も多い (p.25 参照)。

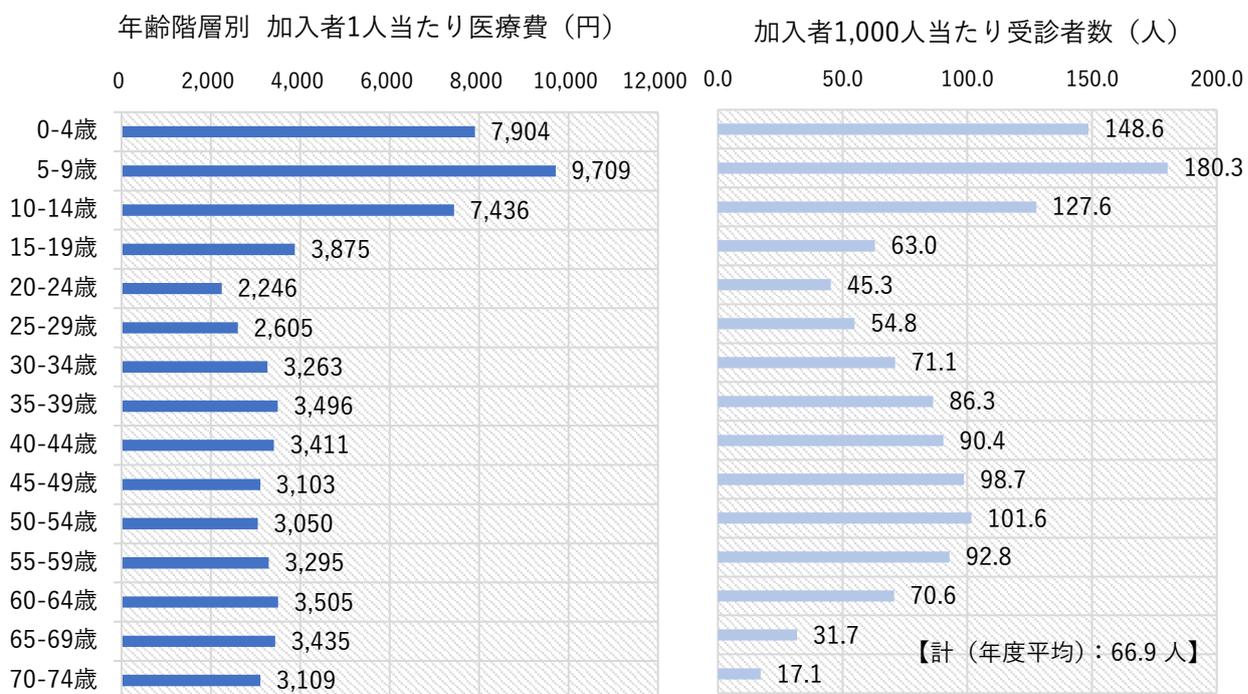
令和4年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

	医療費	1人当たり医療費	受診率 (1,000人当たり件数)	1件当たり日数	1日当たり医療費
呼吸系疾患計	3,806億円	1万4,048円	1713.8件	1.51日	5,419円
血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎	1,105億円	4,076円	829.1件	1.36日	3,625円

(4) 年齢階層別にみた加入者1人当たり医療費

- 年齢階層別に加入者1人当たり医療費をみると、5-9歳：9,709円が最も高く、次いで、0-4歳：7,904円、10-14歳：7,436円と、乳幼児・未就学児で高く、加入者1,000人当たり受診者数が大きく影響している。

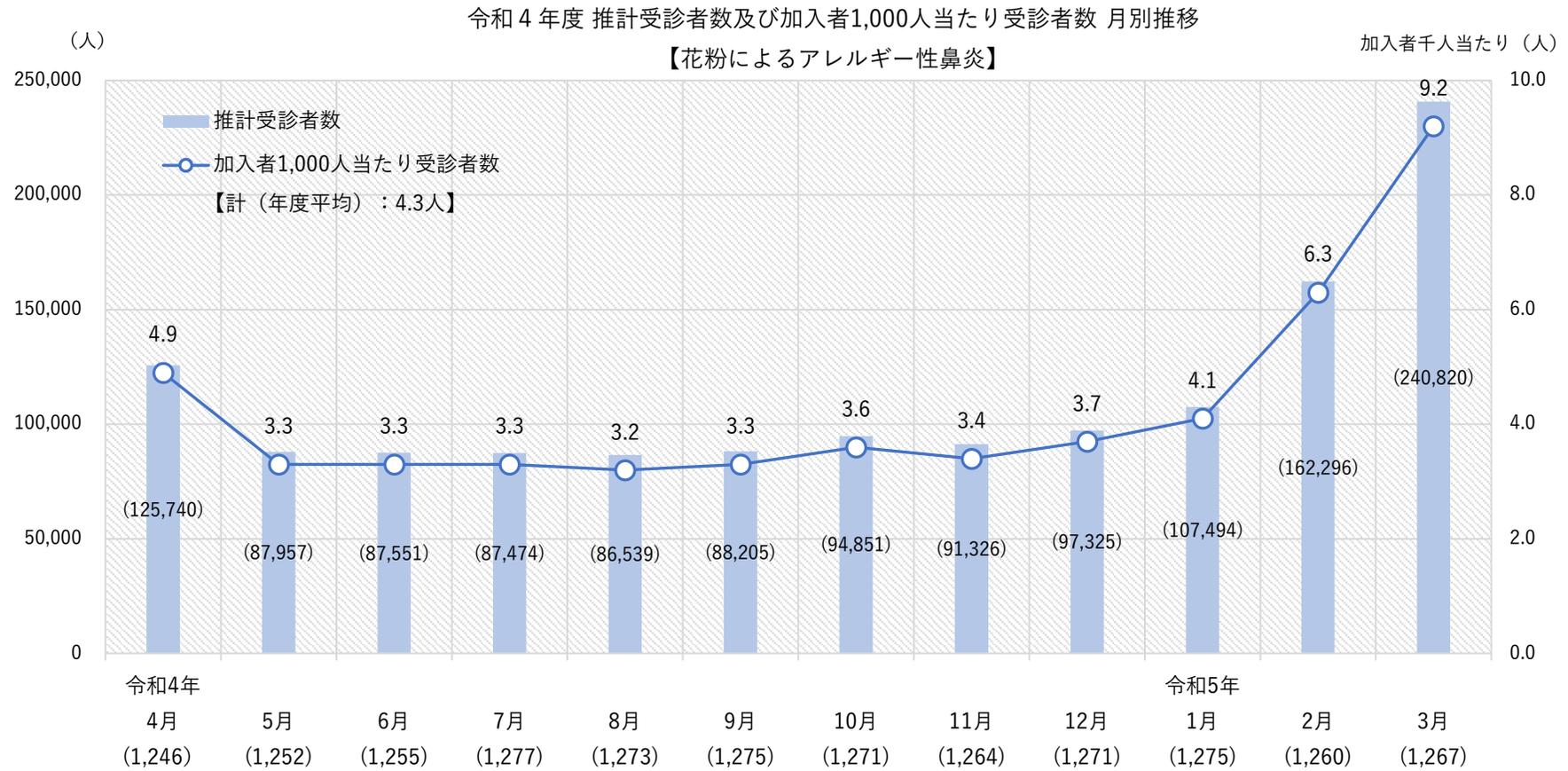
【血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎】



5. 花粉によるアレルギー性鼻炎

(1) 加入者1,000人当たり受診者数の月別推移

- 月別推移をみると、3月：9.2人が最も多く、次いで、2月：6.3人、4月：4.9人—となっており、1月から増加する傾向がみられる。

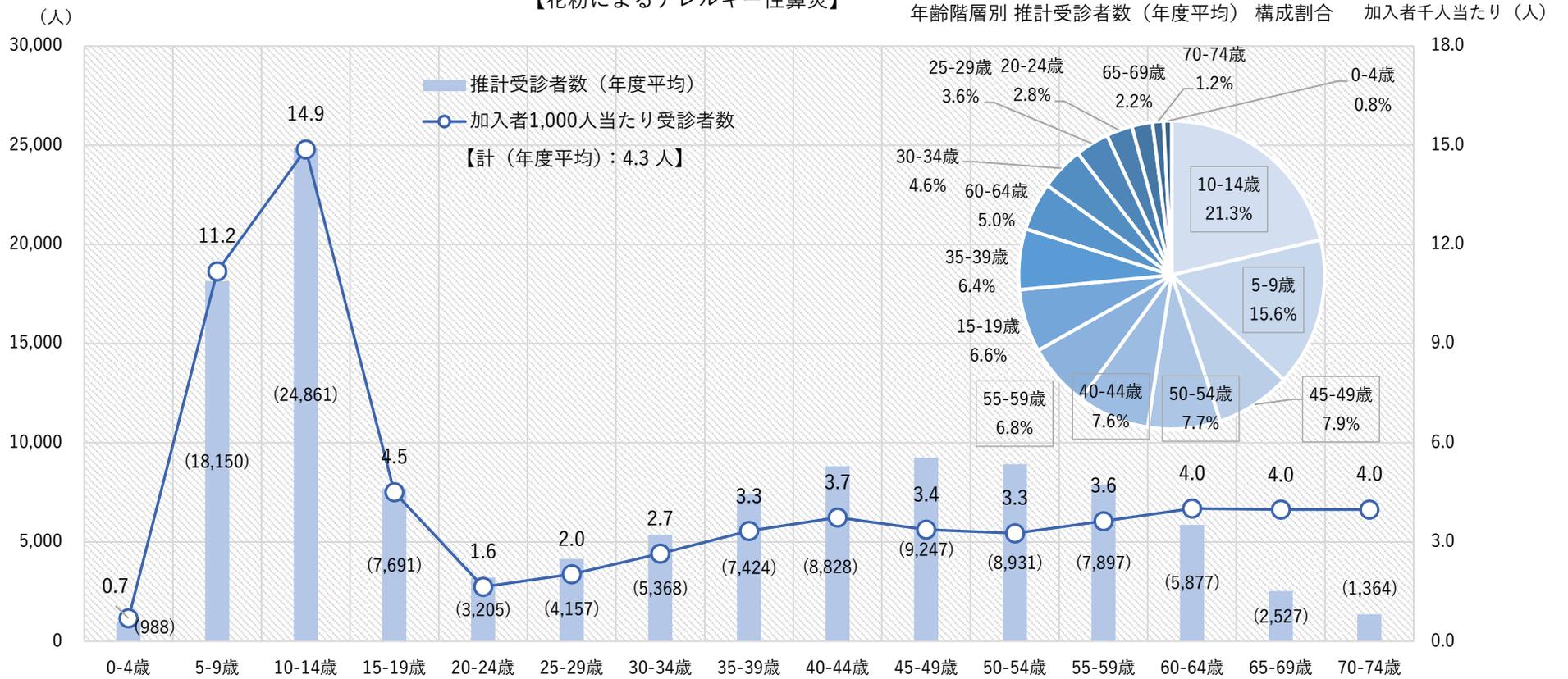


(2) 年齢階層別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数

- 年齢階層別にみると、10-14 歳：14.9 人が最も多く、次いで、5-9 歳：11.2 人、15-19 歳：4.5 人となっている。
- また、年齢階層別に推計受診者数の構成割合をみると、未就学児で高いほか、40 歳代：15.5%、50 歳代：14.5%と、40-50 歳代においても高い割合が示されている。

令和 4 年度 年齢階層別 推計受診者数（年度平均）及び加入者 1,000 人当たり受診者数

【花粉によるアレルギー性鼻炎】



(3) 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

- 加入者1人当たり医療費は358円となっており、医療費3要素分解でみると、▽加入者1,000人当たり受診率：51.7件、▽1件当たり日数：1.25日、▽1日当たり医療費：5,525円-となっている。

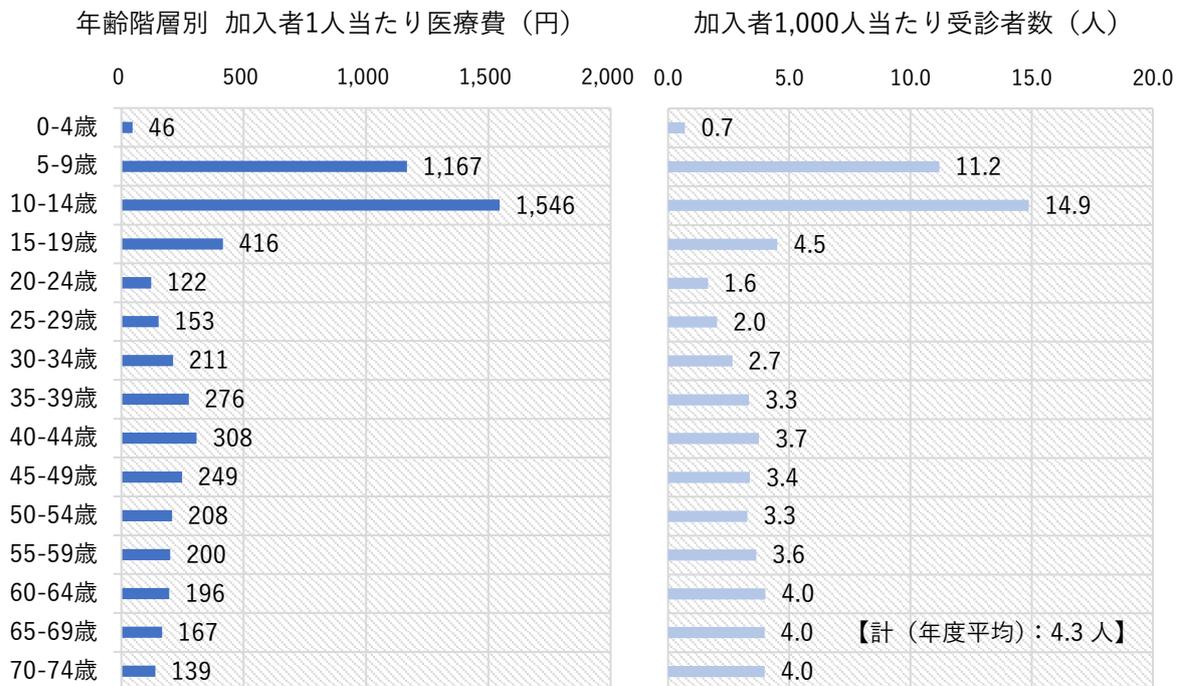
令和4年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

	医療費	1人当たり医療費	受診率(1,000人当たり件数)	1件当たり日数	1日当たり医療費
呼吸系疾患計	3,806億円	1万4,048円	1万713.8件	1.51日	5,419円
花粉によるアレルギー性鼻炎	97億円	358円	51.7件	1.25日	5,525円

(4) 年齢階層別にみた加入者1人当たり医療費

- 年齢階層別に加入者1人当たり医療費をみると、10-14歳：1,546円が最も高く、次いで、5-9歳：1,167円、15-19歳：416円-と未就学児で高く、加入者1,000人当たり受診者数が大きく影響している。

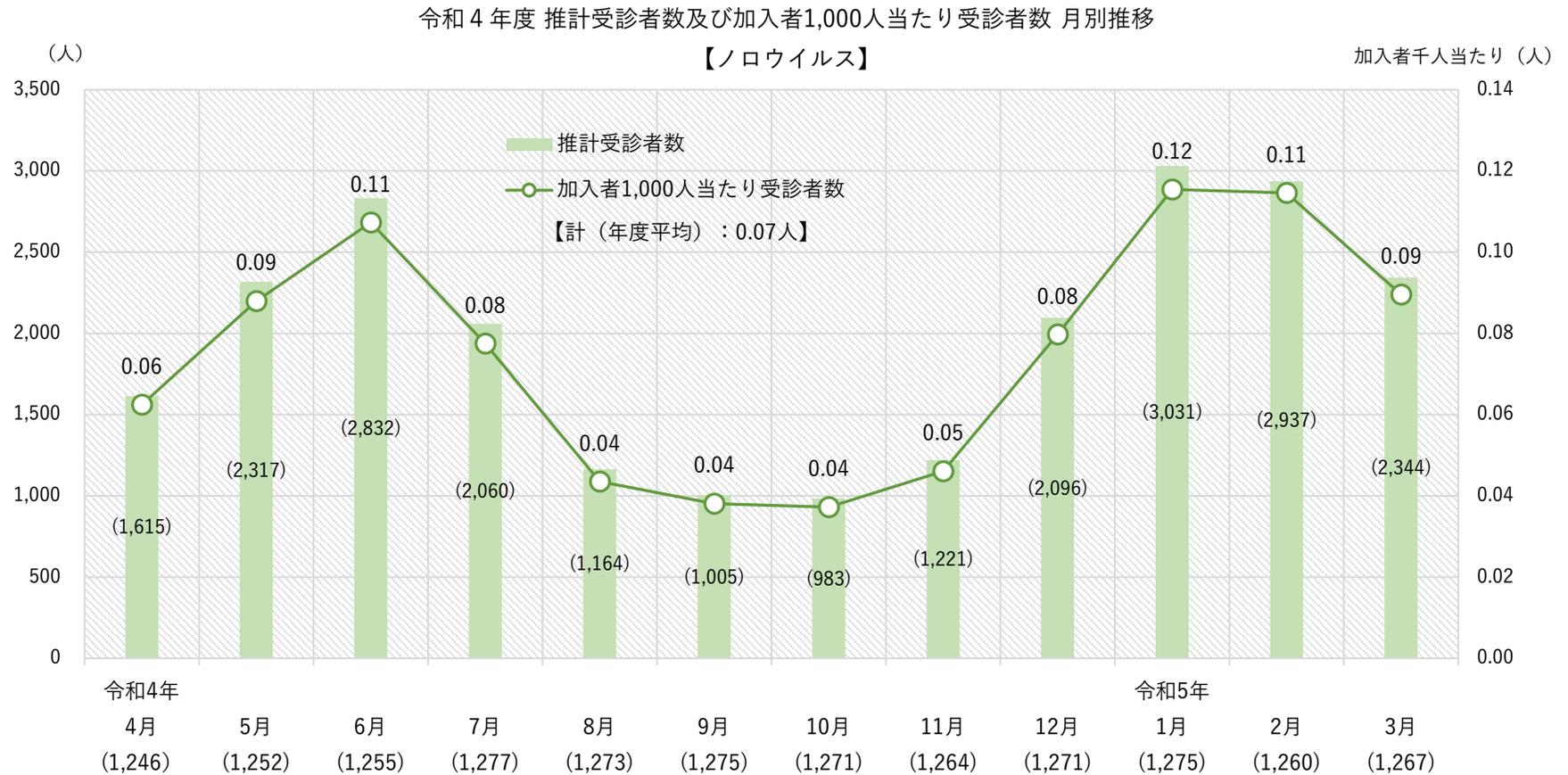
【花粉によるアレルギー性鼻炎】



6. ノロウイルス

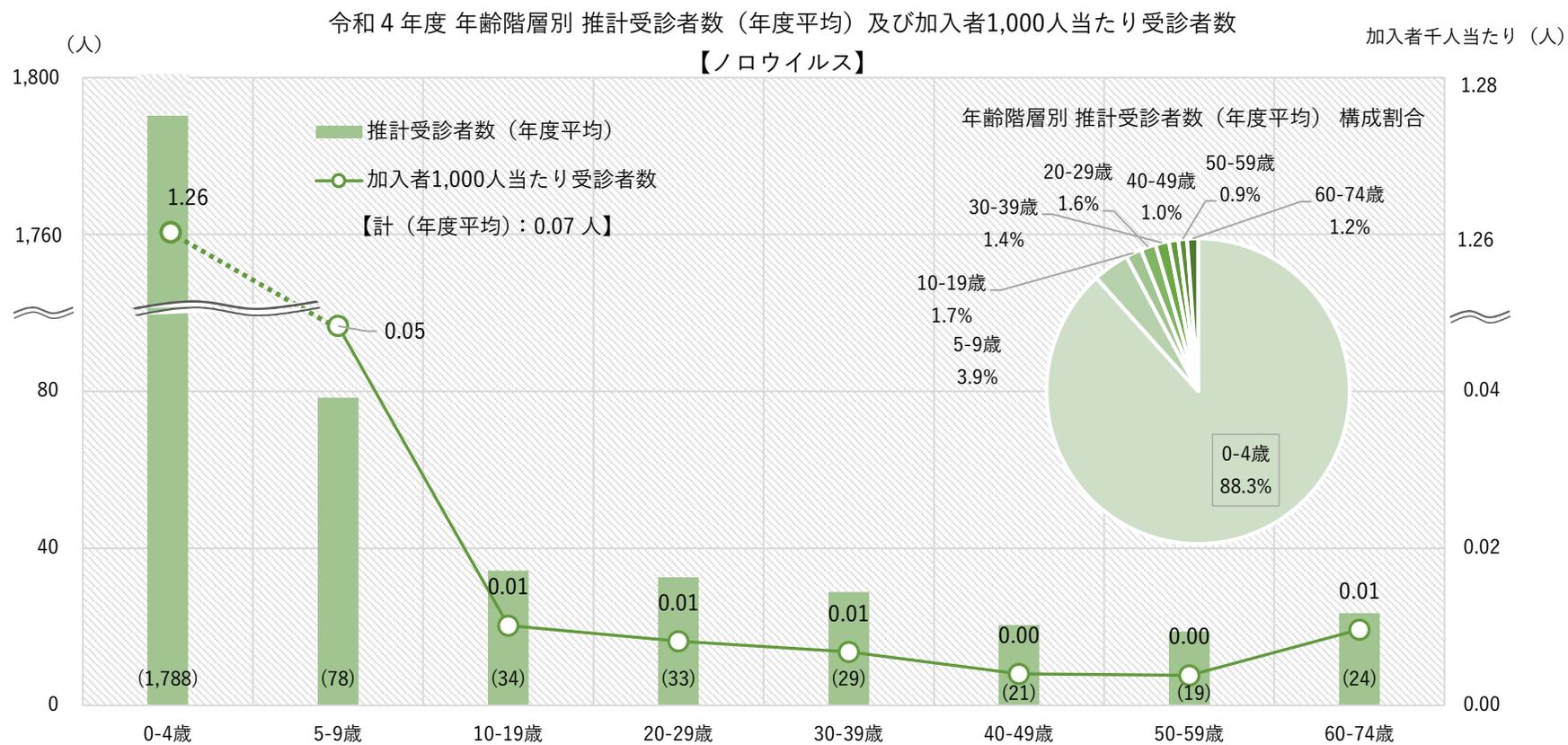
(1) 加入者1,000人当たり受診者数の月別推移

- 月別推移をみると、上半期では6月：0.11人をピークに多くなり、その後、下半期では1月：0.12人をピークに多くなる傾向がみられる。



(2) 年齢階層別にみた加入者 1,000 人当たり受診者数

- 年齢階層別にみると、0-4 歳：1.26 人が最も多く、次いで、5-9 歳：0.05 人、10 歳代以降は概ね 0.01 人となっている。
- また、年齢階層別に推計受診者数の構成割合をみると、0-4 歳：88.3%が最も高く、乳幼児が全体の 9 割近くを占めている。



(3) 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

- 加入者1人当たり医療費は4円となっており、医療費3要素分解でみると、▽加入者1,000人当たり受診率：0.9件、▽1件当たり日数：2.07日、▽1日当たり医療費：2,026円-となっている。なお、1件当たり日数は、本調査6疾患のなかで最も長い (p.25 参照)。

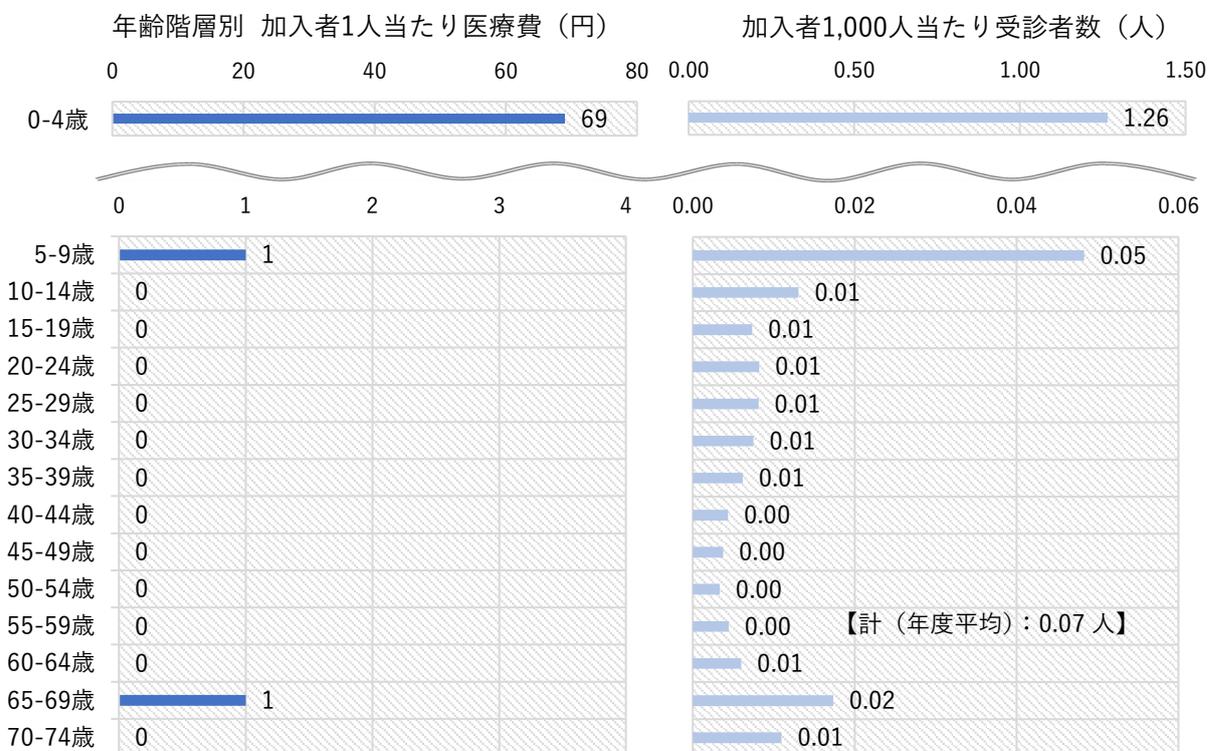
令和4年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

	医療費総額	1人当たり医療費	受診率 (1,000人当たり件数)	1件当たり日数	1日当たり医療費
感染症・寄生虫症計	936億円	3,456円	472.3件	1.62日	4,503円
ノロウイルス	1億円	4円	0.9件	2.07日	2,026円

(4) 年齢階層別にみた加入者1人当たり医療費

- 年齢階層別に加入者1人当たり医療費をみると、0-4歳の乳幼児が69円と他の年齢階層に比べ圧倒的に高く、加入者1,000人当たり受診者数が大きく影響している。

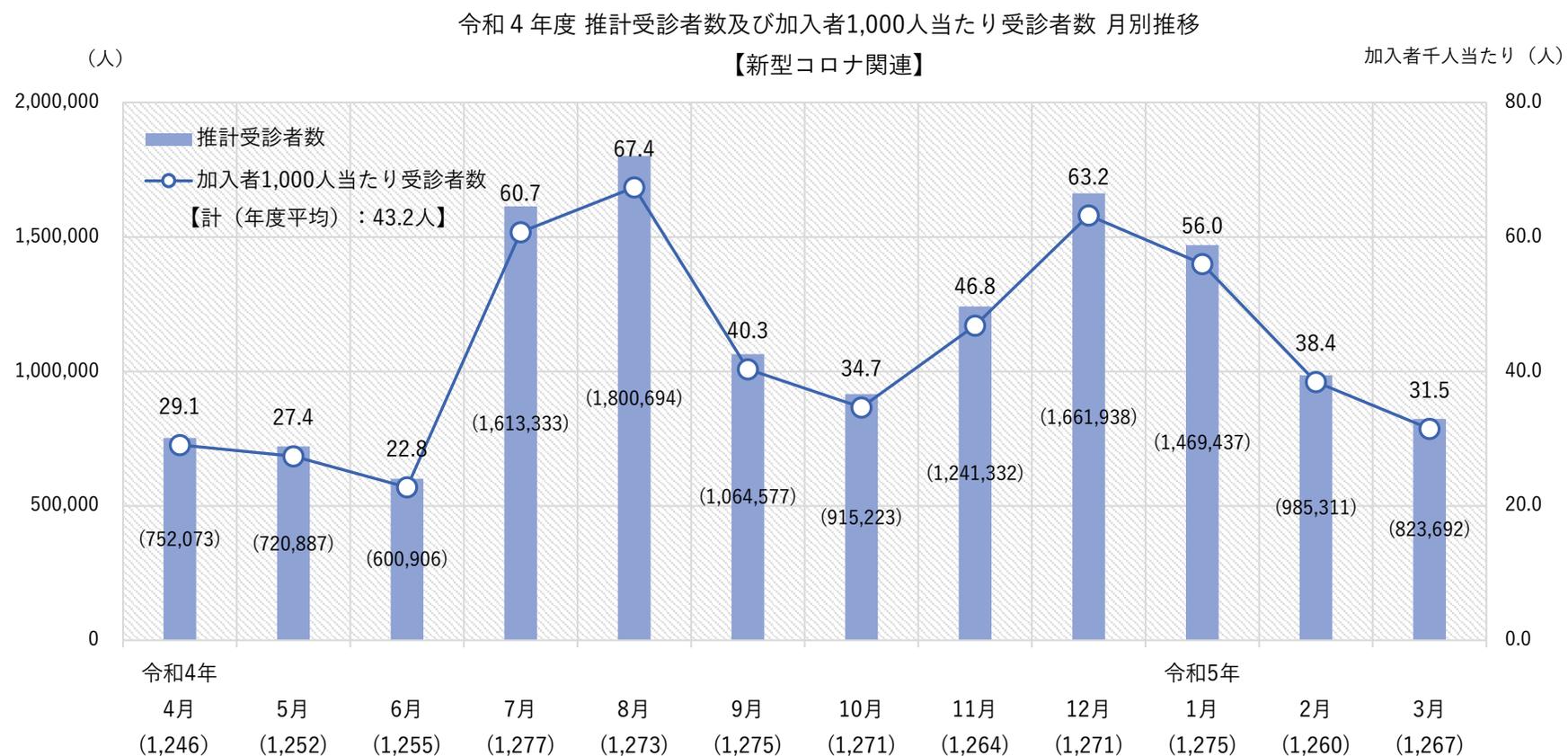
【ノロウイルス】



7. 新型コロナ（COVID-19）関連

（1）加入者1,000人当たり受診者数の月別推移

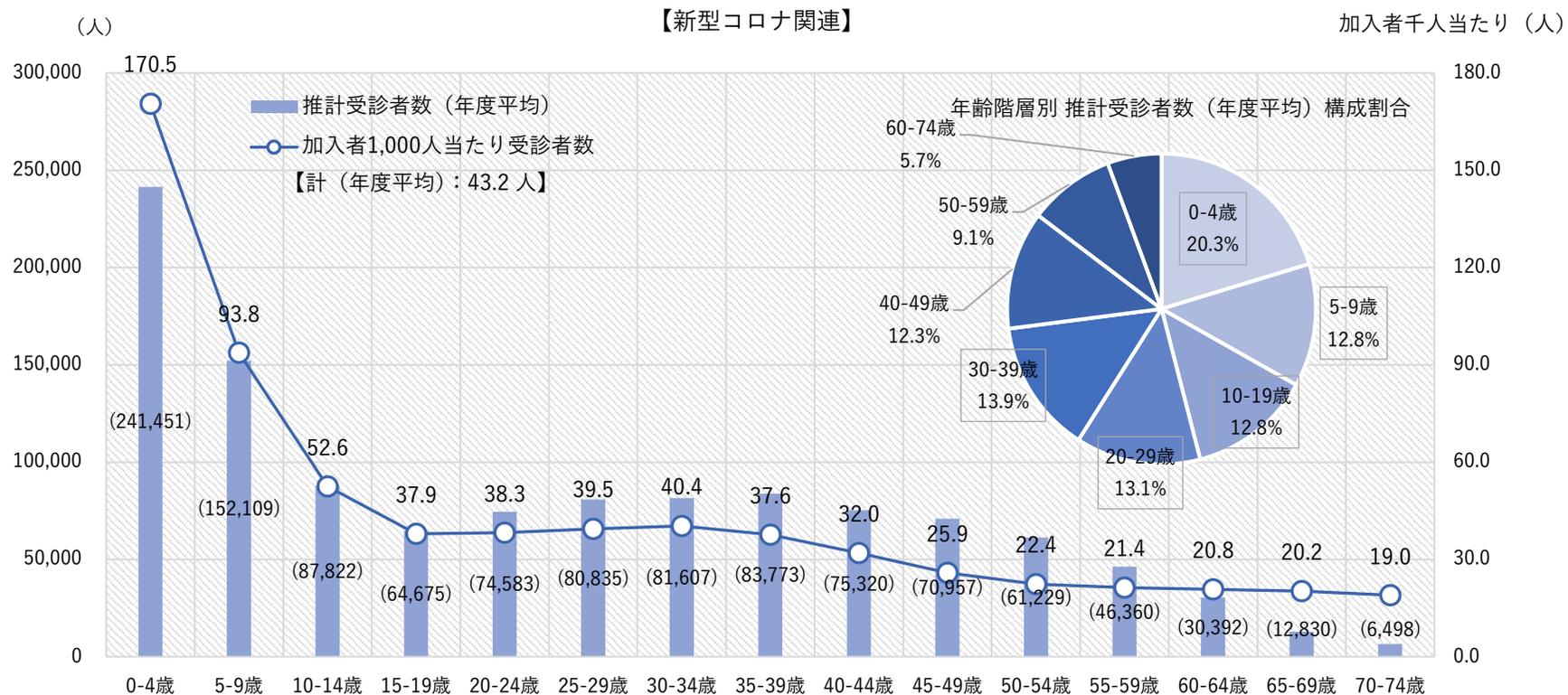
- 月別推移をみると、▽上半期では7月～8月（第7波）、▽下半期では11月～1月（第8波）にかけて受診者数が多くなる傾向がみられる。なお、最も多いのは8月：67.4人で、次いで、12月：63.2人、7月：60.7人となっている。



(2) 年齢階層別にみた加入者1,000人当たり受診者数

- 年齢階層別にみると、0-4歳：170.5人が最も多く、次いで、5-9歳：93.8人、10-14歳：52.6人となっている。
- また、年齢階層別に推計受診者数の構成割合をみると、0～9歳代：33.1%、10～20歳代：25.9%、30歳代：13.9%となっている。

令和4年度 年齢階層別 推計受診者数（年度平均）及び加入者1,000人当たり受診者数



(3) 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

- 加入者1人当たり医療費は9,456円となっており、医療費3要素分解でみると、▽加入者1,000人当たり受診率：543.6件、▽1件当たり日数：1.46日、▽1日当たり医療費：1万1,918円-となっている。
- なお、加入者1人当たり医療費及び1日当たり医療費は、本調査6疾患のなかで最も高い (p.25 参照)。

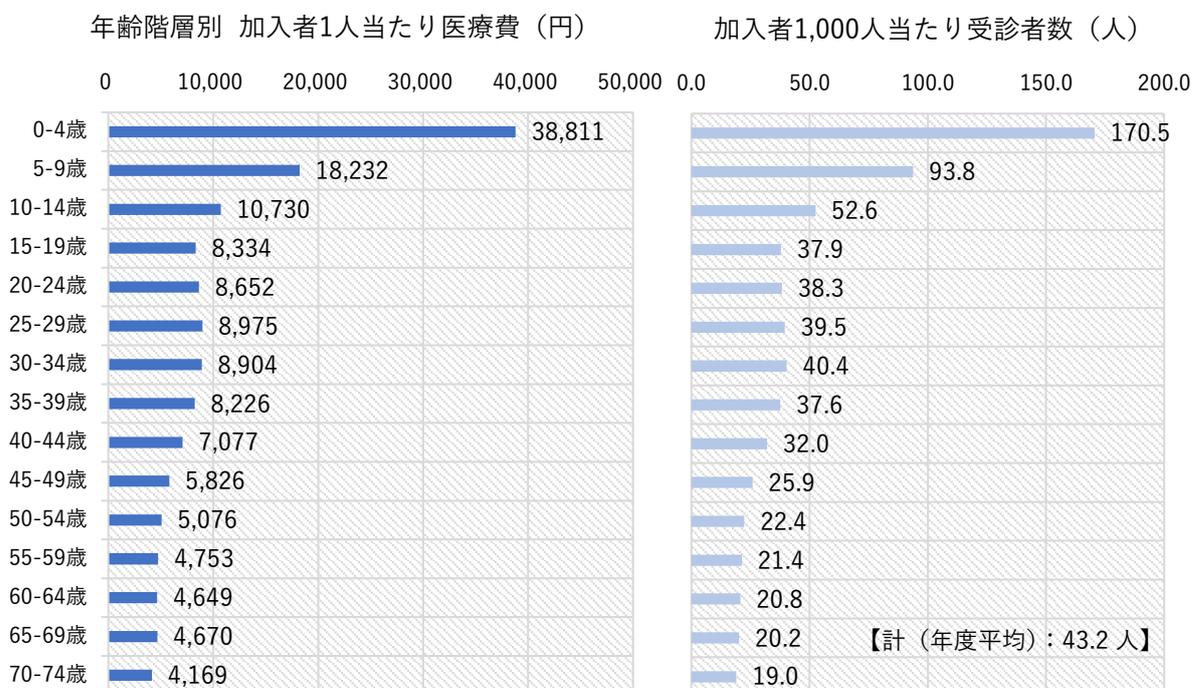
令和4年度 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

	医療費	1人当たり医療費	受診率 (1,000人当たり件数)	1件当たり日数	1日当たり医療費
呼吸器系疾患計 (参考)	3,806 億円	1万 4,048 円	1,713.8 件	1.51 日	5,419 円
新型コロナ関連	2,562 億円	9,456 円	543.6 件	1.46 日	1万 1,918 円

(4) 年齢階層別加入者1人当たり医療費

- 年齢階層別に加入者1人当たり医療費をみると、0-4歳：38,811円が最も高く、次いで、5-9歳：18,232円、10-14歳：10,730円-と未就学児で高く、加入者1,000人当たり受診者数が大きく影響している。

【新型コロナ関連】



【参考】

令和4年度<医科入院外>疾病分類別 加入者1人当たり医療費及び医療費3要素

	医療費総額	加入者1人当たり 医療費	受診率(1,000人 当たり件数)	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
疾病医療費(医科入院外)計(薬剤費を含む)	3兆0,350億円	11万2,010円	11,753.1件	1.56日	6,126円
呼吸器系疾患計	3,806億円	1万4,048円	1713.8件	1.51日	5,419円
急性鼻咽頭炎[かぜ]	69億円	254円	97.4件	1.53日	1,706円
インフルエンザ	119億円	441円	80.9件	1.41日	3,854円
血管運動性鼻炎、アレルギー性鼻炎	1,105億円	4,076円	829.1件	1.36日	3,625円
花粉によるアレルギー性鼻炎	97億円	358円	51.7件	1.25日	5,525円
感染症・寄生虫症計	936億円	3,456円	472.3件	1.62日	4,503円
ノロウイルス	1億円	4円	0.9件	2.07日	2,026円
新型コロナ関連(その他の特殊目的用コード)	2,562億円	9,456円	543.6件	1.46日	1万1,918円

注) 本調査における医療費は、各疾病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、疾病名ごとに医療費を振り分けた結果に基づき算出した推計医療費(薬剤費を含む)である。公的 disease 統計においてはレセプトに記載された1ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づき1レセプト1傷病名による医療費で集計しているが、これとは異なる点に留意されたい。